

経営比較分析表（令和4年度決算）

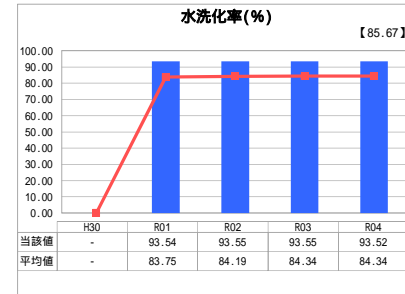
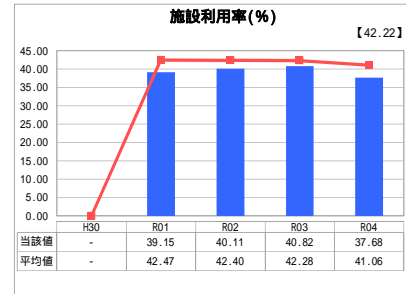
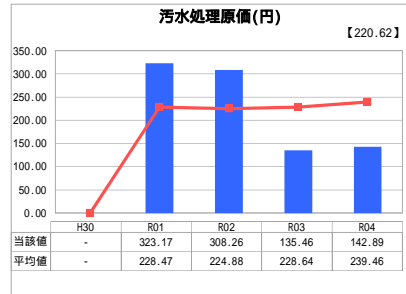
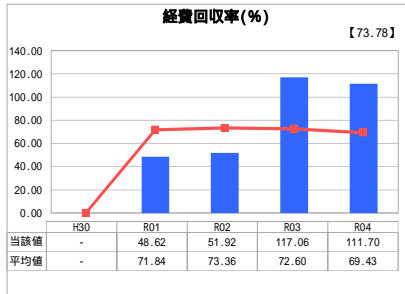
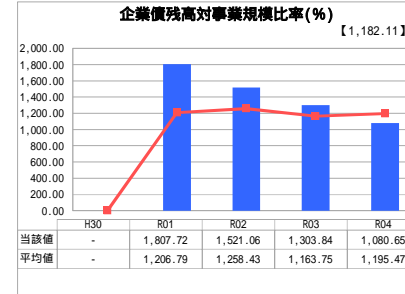
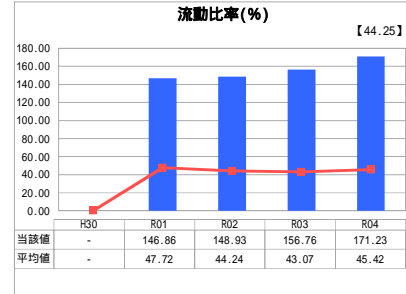
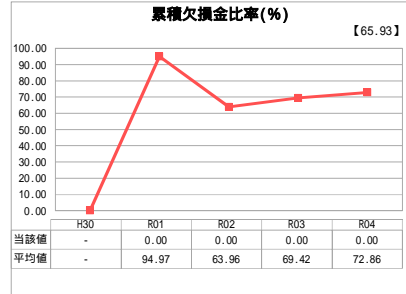
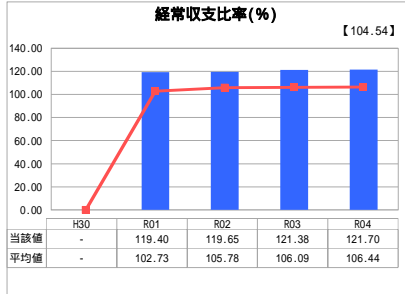
兵庫県 朝来市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	83.05	29.13	87.42	3,140

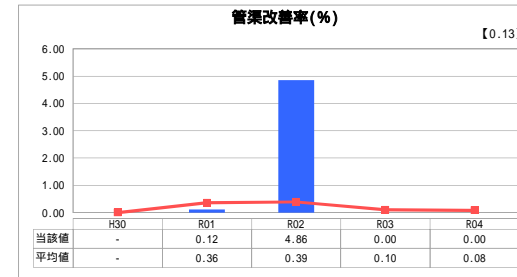
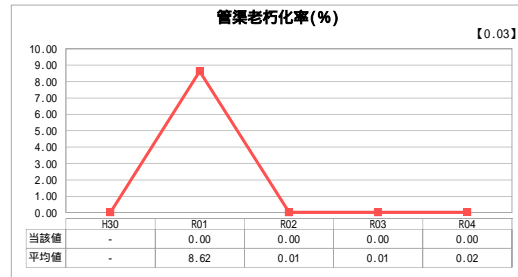
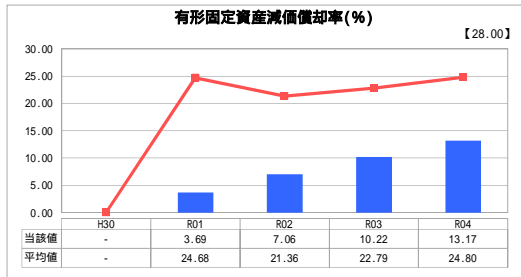
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
28,676	403.06	71.15
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,308	4.21	1,973.40

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

【単年度の収支】
経常収支比率は100%を超えているものの、更新投資等に充てる財源が充分とは言えない為、更なる費用削減が必要である。

【債務残高】
企業債残高対事業規模比率は企業債の償還が進んだこと、及び発行抑制が図れていることから減少している。しかしながら、今後の老朽化施設の更新時期が重なってくることにより、上昇に転じることも予想される。

【料金水準の適切性】
経費回収率は、令和3年度から繰入金の充当方法を変更したことにより、全国平均を上回っているが、更新投資等に充てる財源確保のためにも、更なる費用削減が必要である。

【費用の効率性】
流動比率は100%を超えており、汚水処理原価についても類似団体平均値を下回っているが、更なる維持管理費の削減に努める。

【施設の効率性】
施設利用率が低下しており、今後も計画的に施設の統合を図り、適切な施設規模を維持していく必要がある。

【使用料対象の捕捉】
水洗化率は、類似団体平均値を上回っている。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率については、平均値と比較して大きく下回っているが、平成7年12月の供用開始以来20年以上が経過し、施設の老朽化が進行しているため、ストックマネジメント計画にのっとり、計画的に施設更新を行う必要がある。

全体総括

本市の特定環境保全公共下水道事業は、使用料収入の大幅な伸びが期待できない状況にある一方で、施設建設から相当の年月が経過しており、施設の老朽化が進行している。

そのような中、施設の維持管理、施設更新を強化する必要があり、引き続き厳しい状況にある。

以上のようなことから、事業種別を超えた処理区の統廃合を視野に入れた事業推進を行い、経営の効率化を図っていくことが必要である。

「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。